



当館では、あるべき博物館の姿として「だれでも、どこでも博物館」を掲げています。つまり、私たちの暮らし自体、また住んでいる地域自体が博物館と認識されるような状態になることをめざそうということです。そんな中、博物館職員の役割は、研究をはじめ様々な博物館活動を通して地域に根ざした主体的活動をお手伝いすることにあると私は考えています。

現在、高島市マキノ町海津地区において内湖の魚類調査を行っています。この現場では、これまで私たちは地元のマキノ東小学校や「マキノゆめの森づくり委員会」等の野外活動に積極的に関わってきました。

写真はその一コマで、私共の共同研究「エコトーン（＝水辺移行帯）」の一環として、地元の子どもたちに田んぼで育ったニゴロブナ稚魚を内湖



に放流してもらっているシーンです。

こうした機会をもつことは、地域の方に博物館をより身近に感じて頂けますし、また参加者に地元の価値を見直して頂く契機になると思います。そうした意味から、今後とも研究現場において地元の方と対話を続けていきたいと考えています。



トゥルク市観光ガイド、トゥルク大学 幡野 恒

私は、2001年よりフィンランドの古都トゥルクにフィンランド語を学び始め、去年より日本人向け観光ガイドを始めます。

10年前にフィンランドを旅行した時、自然に魅了され、フィンランド人の優しさに感動しました。フィンランド語でお礼の言葉を伝えられるようになりたいと思い、フィンランド語の学習を始めました。今では、留学して勉強を続けたいという念願が叶い、ここに住み始めて4年が

経ちました。2004年の夏、ディスカバリールームの子どもたち、フィンランドのコーナーの関係で、フィンランドの子供たちに關する調査をしました。今年の冬には博物館からの依頼で、2月のとある日に小学校の2日をビデオ撮影しました。日中もマイナス10という氷点下の世界で元気に生活する子供たち。休み時間には外に出て遊び、授業のスキューでは楽しそうに滑っていました。そんな彼

らの姿はとてまたくましく見えました。撮影に協力していただいた小学校の生徒に折り紙を教えました。生徒だけでなく付き添いの先生までも目を輝かせて、初めて体験する折り紙に熱心に取り組んでいました。また、琵琶湖博物館より送られたけんたま、だるまおとしなどの日本のおもちゃは取り合いになり、そうなくらいの人気でした。日本から遠く離れたフィンランドの子どもたち。彼らの目に映る世界を琵琶湖博物館ディスカバリールームのコーナーを通してぜひ体験してみてください。



ディスカバリールームに設けられたフィンランドコーナー



白夜のフィンランド、ラップランドにて

こんにちは！ 展示交流員です。



「人と琵琶湖の歴史」がテーマのB展示室。今日は交流員さんがそれぞれ工夫したテーマで来館者の方々と交流している様子をのぞいています。

「瀬田の唐橋と龍宮へ行った人」（折中交流員）  
このテーマを選んだ理由は  
何ですか？

頭上にある大きな「瀬田唐橋」の展示に気づかずに通り過ぎて行かれる来館者が、意外と多いことです。

どんなお話をされている  
のですか？

私たちは、琵琶湖博物館の案内だけでなく、展示を通してみなさんと交流し、みなさんに身近な自然や生活へ目を向けていただく『かけはし』となっています。どうぞお気軽にお声をかけてください。

まずガラスケース内の橋模型を見てもらい、頭上にある唐橋橋脚の展示に気づいてもらうことから始めています。唐橋にまつわる「俵の藤太」のお話しも、子どもたちには絵本を使い、大人の方には石山寺縁起などに描かれた唐橋の絵図をお見せしています。



絵本「俵の藤太」のお話

来館者の反応はどうか？

話を聞いた後で、藤太の記念碑を見に行ってみようとか、石山寺のしじみ飯を食べに行こうかといった反応もあり、少しはフィールドへの誘いができたかなと思っています。

「つくってみよう滋賀の味」（奥村交流員）  
板の間に座り、丸いちゃぶ台を囲んで話が弾んでいますね。

この「漁師の暮らし」のコーナーでは、再現された漁師の家の板の間があがってもいいのですかという質問をよく



ちゃぶ台を囲んでの交流

受けます。外から見ていただけでなく、板の間に座って話を聞いていただけると、展示の内容をより良く理解していただけます。

「滋賀の味」は湖魚料理のお話ですか？

そうです。来館者のなかには、水質が悪くなって琵琶湖の魚はもう食べられないと思っておられる方もいらっしゃるため、今でも季節の変化に合わせた伝統的な湖魚料理が続いていることを紹介しています。

来館者の方からはどんなお話が聞けますか？

県内にお住まいの方々からは、県外の方に季節ごとの湖魚料理を送ってあげられ、大変喜ばれているといったお話しも聞かれます。